

2021年度

学習指導進度表

科目名称： ビジネスマナー		科目担当：外里 宏		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師	
学科： 公務員科	学年： 1年	予定 <u>35</u> 時間	実績 _____ 時間	<input checked="" type="checkbox"/> 通年・前期・後期	
教材	1. 教科書 マイロード21専修・各種学校生の就職ガイド改訂版 実務出版(株)発行 就職指導研究会著				
目標	前期：社会人になるための基本を身に付ける 後期：就職に対する基本的な心構えを構築する				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

・授業期間を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1. 第1章～4章 就職活動にむけて、これまでの事例を取り上げながらすすめる	20
2. 各省庁・各市町村機関の仕事内容を調べ、そのやりがいについて考えさせる。	15
時間数合計	35

2021年度

学習指導進度表

科目名称： マルチメディア実習		科目担当： 岩 崎 彰 男 (システム開発の経験あり)		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師
学科： 公務員科	学年： 1年	予定 <u>37</u> 時間	実績 <u> </u> 時間	<input checked="" type="checkbox"/> 通年・前期・後期
教材	1. 教科書 <u>30時間アカデミック Webデザイン</u> <u>実教</u> 出版 <u>景山明俊・石上美季子</u> 著			
目標	1. 静止画像や動画、イラストやアニメーション、PDFの作成、メール利用方法について学ぶ。 2. 上述のメディアを活用しホームページを作れるようにする。			
授業に関する説明	<p>1. 授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義及び実習。 <p>2. 成績評価の方法・基準</p> <p>(1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。</p> <p style="padding-left: 20px;"><評価項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 検定取得状況 ⑦ 模擬テスト <p>(3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。</p> <p style="padding-left: 20px;"><評価基準></p> <ul style="list-style-type: none"> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 <p>3. 予習・復習について</p> <p>(1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。</p> <p>(2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。</p> <p>4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。</p>			

指 導 事 項	予定時間
1. Web 制作の概要と基礎 (メールの設定含む)	4
2. 簡単な Web ページの作成 (HTML5 の外枠、FTP の利用法含む) 例題 1, 2, 3	4
3. 表現追加 (タグを知って、ラクに加工) 例題 4～14 実習 1～13	11
4. 細部表現の書式設定 (css, id, class, 外部ファイル化) 例題 15～26 実習 14～23	10
5. 私のトップページ 仕上げ (各例題、実習、自作品へのリンク)	8
時間数合計	37

2021年度

学習指導進度表

科目名称： リスクマネジメント		科目担当： 丸谷 紘之 (システム開発及び営業の実務経験あり)		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師
学科： 公務員科	学年： 2年	予定 <u>28</u> 時間	実績 <u> </u> 時間	通年・前期・ 後期
教材	1. 教科書 これから社会へ出る人のための「リスクマネジメント」 2. 副教材 授業用のレジュメ			
目標	リスクの考え方とその認識、管理手法に関する必要な知識を学ぶ。			
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。			

・授業期間を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1. リスクマネジメントとは 2. 大手食品メーカー食中毒事件 3. コンプライアンス（法令遵守）とは	5
4. さまざまな法律 5. 事故の発生原因 6. リスク・チェーン	5
7. リスクマネジメントの必要性 8. 社会的責任の要請－CSR 9. 法律によるリスクマネジメントの要求	6
10. 情報技術の革新 11. 企業・組織のリスクマネジメント 12. リスクの洗い出し	6
13. リスク対策とクライシスマネジメント 14. 対策の実施とモニタリング 15. ハザードリスク	6
時間数合計	28

2021年度

学習指導進度表

科目名称：ワードプロセッサ I		科目担当：外里 宏		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師	
学科：公務員科	学年：1年	予定 39時間	実績 _____時間	通年・ <u>前期</u> ・後期	
教材	1. 教科書 日商PC検定試験文書作成3級 公式テキスト&問題集 FOM 出版 2. 問題集 日商PC検定試験3級 知識科目公式問題集 FOM 出版 知識問題プリント				
目標	PC・ワードの基本操作・基礎知識の習得し、日商PC3級(文書作成)の取得を目指す。(受験R02.2下旬)				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び実習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 検定取得状況 (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。 なお、上記(2)評価項目⑥については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

・授業期間を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1. タイピング練習	4
2. 入力練習	10
3. ワード基本操作	10
4. ビジネス文書作成	10
5. 知識問題対策演習	5
時間数合計	39

2021年度

学習指導進度表

科目名称：ワードプロセッサⅡ		科目担当：丸谷 紘之 (システム開発及び営業の実務経験あり)		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師	
学科：公務員科	学年：2年	予定 12 時間	実績 _____ 時間	通年・前期・後期	
教材	1. 教科書 30 時間でマスター プレゼンテーション+PowerPoint2012 実教出版(株) 出版				
目標	1. Word で習得した技法を生かし、優れたプレゼンテーション資料を作成できるようになる。				
授業に関する説明	<p>1. 授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義及び問題演習。 <p>2. 成績評価の方法・基準</p> <p>(1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。</p> <p>＜評価項目＞</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 授業中の学習態度 ④ 課題提出状況 <p>(3) 成績評価は上記(2)評価項目①～④の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。</p> <p>＜評価基準＞</p> <p>A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満</p> <p>3. 予習・復習について</p> <p>(1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。</p> <p>(2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識の定着を図ること。</p> <p>4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。</p>				

指 導 事 項	予定時間
1. プレゼンテーションとは	1
2. Powerpointの基本操作	2
3. プレゼンテーションの実施と反省	2
4. ワードの応用 差し込み印刷	2

5. ワード&エクセルの応用	5
時間数合計	12

2021年度

学習指導進度表

科目名称： ペン字		科目担当： 西川 裕子 (日本教育書道連盟 一般部師範)		<input type="checkbox"/> 専任 <input checked="" type="checkbox"/> 講師
学科： 公務員科	学年： 2年	予定 <u>24</u> 時間	実績 <u> </u> 時間	通年・前期・ <u>後期</u>
教材	1. 教科書 <u>ペン習字教室</u> <u>日本習字普及協会</u> 出版 <u>佐藤友理</u> 著			
目標	1. ペン字で美しい文字が身につくように練習する 2. 硬筆書写検定3級および上位の級の取得を目指す			
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 授業中の学習態度 ③ 課題提出状況 ④ 検定取得状況 (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～③の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目④については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。			

・授業期間を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1. 漢字の練習	
楷書の基本	3
行書の基本	3
2. かなの練習	3
3. 漢字かな交じり文の練習	5
4. 実用書式の練習	5
5. 硬筆書写検定試験問題の練習	5
時間数合計	24

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 公務員試験対策 I (国語・数学)		科目担当： 外里 宏・丸谷 紘之		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師	
学科：公務員科		学年：1年	予定 <u>161</u> 時間	実績 _____ 時間	①通年・前期・後期
教材	1. 教科書：特になし 2. 副教材：基礎学力 国語・言語、算数・数学 TAC、 ポイントマスター 国語・文章理解 TAC、漢字検定 3・準2・2級 過去問 一行計算問題集(6年)マスター1095 日能研				
目標	国家一般職高卒程度、地方初級レベル公務員試験の出題に正答することが出来るように、国語・数学の基礎力を養成すること。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基づいて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。 なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
<p>週7時間 × 13週</p> <p>(1) 漢字検定対策 週1時間 (4) 算数 計算力テスト 週1時間 (2) 4字熟語・慣用句・ことわざ 週1時間 (5) 算数・数学 週1時間 (3) 国語 テスト 週2時間 (6) 算数・数学 テスト 週1時間</p> <p>(1) 漢字検定過去問 (4) 一行計算問題集 (2) (3) 基礎学力 国語・言語 (5) (6) 基礎学力 算数・数学</p>	91
<p>週2時間 単元テスト、数的推理・判断推理</p>	70
時間数合計	161

2021年度

学習指導進度表

科目名称：公務員試験対策 I（適性試験）		科目担当：外里 宏		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師	
学科：公務員科	学年：1年	予定 13 時間	実績 _____ 時間	通年・ <u>前期</u> ・後期	
教材	1. 公務員試験 適性試験 過去問				
目標	問題演習を通じて、早い段階で公務員適性試験に慣れ、学習するきっかけを作る。				
授業に関する説明	<p>1. 授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義及び問題演習。 <p>2. 成績評価の方法・基準</p> <p>(1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。</p> <p>＜評価項目＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 出席状況 ② 確認テスト ③ 授業中の学習態度 <p>(3) 成績評価は上記(2)評価項目①～③の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。</p> <p>＜評価基準＞</p> <ul style="list-style-type: none"> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 <p>3. 予習・復習について</p> <p>(1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。</p> <p>(2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識の定着を図ること。</p> <p>4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。</p>				

・授業期間を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1. 適性試験演習	13

時間数合計	13

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 公務員試験対策 I		科目担当： 大久保 和 彦		<input type="checkbox"/> 専任 <input checked="" type="checkbox"/> 講師	
学科： 公務員科		学年： 1 年	予定 <u>136</u> 時間	実績 _____ 時間	① 通年・前期・後期
教材	1. 教科書 オリジナルプリント				
目標	国家一般職高卒程度、地方初級レベル公務員試験の出題に正答することが出来るように、基礎力全般を養成すること。				
授業に関する説明	<p>1. 授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義及び問題演習。 <p>2. 成績評価の方法・基準</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基づいて行う。 <ul style="list-style-type: none"> <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。 なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 <p>3. 予習・復習について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。 <p>4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。</p>				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
・文学史	34
・美術史	34
・音楽史	34
・思想史	34
時間数合計	136

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 公務員試験対策Ⅱ（7時間目）		科目担当：外里 宏・丸谷 紘之		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師	
学科： 公務員科	学年： 2年	予定 110 時間	実績 _____ 時間	通年・ <u>前期</u> ・後期	
教材	1. 適性試験問題（全80回） ウイネット出版 2. 過去問題（国家公務員Ⅲ種、裁判所、郵政等）				
目標	1. 一般知能分野を中心に、過去問題に取り組み、正答することが出来るように応用力を養成する。 2. 適性試験の演習に取り組み、多くの問題パターンに触れ、本番の試験で高得点を目指す。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 （1）成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 （2）成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 模擬テスト （3）成績評価は上記（2）評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。 なお、上記（2）評価項目⑥については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について （1）予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 （2）復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

・授業期間を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
過去問題演習 並びに 適性試験問題 演習	110
時間数合計	110

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 公務員試験対策Ⅱ		科目担当： 大久保 和 彦		<input type="checkbox"/> 専任 <input checked="" type="checkbox"/> 講師	
学科： 公務員科	学年： 2年	予定 <u>110</u> 時間	実績 _____ 時間	通年・ <u>前期</u> ・後期	
教材	1. 問題集 オリジナルプリント				
目標	国家一般職高卒程度、地方初級レベル公務員試験の出題に正答することが出来るように、応用力を養成すること				
授業に関する説明	<p>1. 授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義及び問題演習。 <p>2. 成績評価の方法・基準</p> <p>(1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。</p> <p style="padding-left: 20px;"><評価項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 模擬テスト <p>(3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。</p> <p>なお、上記(2)評価項目⑥については、その成果により加点を行う。</p> <p style="padding-left: 20px;"><評価基準></p> <ul style="list-style-type: none"> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 <p>3. 予習・復習について</p> <p>(1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。</p> <p>(2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識の定着を図ること。</p> <p>4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。</p>				

・授業期間を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
・ 1年次の復習	15
・ その他の分野の過去問	70
・ 小論文	15
・ 面接シートの作成	10
時間数合計	110

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 公務員試験対策Ⅱ②③		科目担当： 外里 宏・丸谷 紘之		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師	
学科： 公務員科	学年： 2年	予定 <u>73</u> 時間	実績 <u> </u> 時間	通年・前期・後期	
教材	1. オリジナルプリント				
目標	国家一般職高卒程度、地方初級レベル公務員試験の出題に正答することが出来るように、応用力を養成すること				
授業に関する説明	<p>1. 授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義及び問題演習。 <p>2. 成績評価の方法・基準</p> <p>(1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。</p> <p>＜評価項目＞</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 模擬テスト <p>(3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。</p> <p>なお、上記(2)評価項目⑥については、その成果により加点を行う。</p> <p>＜評価基準＞</p> <p>A：85点以上</p> <p>B：70点以上85点未満</p> <p>C：60点以上70点未満</p> <p>D：60点未満</p> <p>3. 予習・復習について</p> <p>(1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。</p> <p>(2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識の定着を図ること。</p> <p>4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。</p>				

・授業期間を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1. 二次試験対策 ・個別面談 ・面接シート作成 ・受験先別面接訓練（集団） ・受験先別面接訓練（個人） ・作文練習 ・グループディスカッション練習	73
時間数合計	73

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 自然科学 I (数学)			科目担当： 外 里 宏		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師
学科： 公務員科	学年： 1年	予定 62時間	実績 _____ 時間	<input checked="" type="checkbox"/> 通年・前期・後期	
教材	1. 教科書： <u>絶対合格シリーズ 自然科学テキスト編</u> <u>(株)麻生キャリアサポート</u> <u>(株)麻生キャリアサポート</u> 2. 副教材： <u>絶対合格シリーズ 自然科学問題集編</u> <u>(株)麻生キャリアサポート</u> <u>(株)麻生キャリアサポート</u>				
目標	国家一般職高卒程度、地方初級レベル公務員試験の自然科学分野(数学)の出題に正答することが出来るように、基礎力を養成すること。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

・授業期間を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1. 展開	6
2. 因数分解	6
3. 平方根	6
4. 1次関数	7
5. 2次方程式・2次不等式	7
6. 2次関数	7
7. 円の方程式	7
8. 不等式の表す領域	8
9. 三角比	8
時間数合計	62

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 自然科学 I (理科)		科目担当： 小 田 喜 治		<input type="checkbox"/> 専任 <input checked="" type="checkbox"/> 講師	
学科： 公務員科		学年： 1 年	予定 <u>62</u> 時間	実績 <u> </u> 時間	通年・前期・ <u>後期</u>
教材	1. 教科書				
	絶対合格シリーズ 自然科学テキスト編		(株)麻生キャリアサポート		(株)麻生キャリアサポート
		絶対合格シリーズ 自然科学問題集編		(株)麻生キャリアサポート	
オリ ジナル講義ノ ー ト					
目標	国家一般職高卒程度、地方初級レベル公務員試験の自然科学分野(理科)の出題に正答することが出来るように、基礎力を養成すること。				
授業に関する説明	1. 授業方法				
	・ 講義及び問題演習。				
2. 成績評価の方法・基準					
(1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。					
(2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。					
<評価項目>					
① 出席状況					
② 期末テスト					
③ 確認テスト					
④ 授業中の学習態度					
⑤ 課題提出状況					
⑥ 模擬テスト					
(3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。					
なお、上記(2)評価項目⑥については、その成果により加点を行う。					
<評価基準>					
A：85点以上					
B：70点以上85点未満					
C：60点以上70点未満					
D：60点未満					
3. 予習・復習について					
(1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。					
(2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識の定着を図ること。					
4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。					

・授業期間を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
生物	
1. 生体のつくり	3
2. 細胞分裂・生殖	3
3. 遺伝	3
4. 酵素	3
5. 光合成	3
6. 呼吸	3
7. 刺激と反応	4
8. 恒常性と調節	4
9. 植物の反応・動物の行動	4
10. 生態系	4
化学	
1. 物質の構造	3
2. モル・化学反応式	3
3. 酸と塩基	3
4. 酸化・還元	3
5. 周期表	4
6. 気体	4
7. 気体の性質・溶解度	4
8. 金属の性質	4
時間数合計	62

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 自然科学Ⅱ		科目担当： 小 田 喜 治		<input type="checkbox"/> 専任 <input checked="" type="checkbox"/> 講師	
学科： 公務員科	学年： 2年	予定 <u>66</u> 時間	実績 <u> </u> 時間	通年・ <u>前期</u> ・後期	
教材	1. 教科書 <u>絶対合格シリーズ 自然科学テキスト編</u> (株)麻生キャリアサポート (株)麻生キャリアサポート <u>絶対合格シリーズ 自然科学問題集編</u> (株)麻生キャリアサポート (株)麻生キャリアサポート オリジナル講義ノート				
	目標 国家一般職高卒程度、地方初級レベル公務員試験の自然科学分野の出題に正答することが出来るように、応用力を養成すること。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。 なお、上記(2)評価項目⑥については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

・授業期間を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
物理と地学を2週で各3 時間ずつになるように講義する	
物理	
1. 力	4
2. 滑車・てんびん・ばね・浮力	4
3. 物体の運動	4
4. 仕事・力学的エネルギー・熱量	4
5. 電気	4
6. 波動	4
7. 放射線	4
地学	
1. 地球の内部	4
2. 地震	4
3. 岩石・火山	4
4. 大気の構成	4
5. 天気	4
6. 地球の運動	4
7. 太陽・月	4
8. 太陽系の天体	4
9. 恒星と宇宙	3
10. 地球の歴史	3
時間数合計	66

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 社会科学 I		科目担当： 丸谷 紘之		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師	
学科： 公務員科	学年： 1年	予定 <u>88</u> 時間	実績 <u> </u> 時間	<input checked="" type="checkbox"/> 通年・前期・後期	
教材	1. 教科書： <u>絶対合格シリーズ 社会科学テキスト編</u> <u>(株)麻生キャリアサポート</u> <u>(株)麻生キャリアサポート</u> 2. 副教材： <u>絶対合格シリーズ 社会科学問題集編</u> <u>(株)麻生キャリアサポート</u> <u>(株)麻生キャリアサポート</u>				
	目標 国家一般職高卒程度、地方初級レベル公務員試験の社会科学分野の出題に正答することが出来るように、基礎力を養成すること。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。				
	2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基づいて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。 なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満				
3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。					
4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。					

・授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
政治分野	
1. 統治機構	5
2. 日本国憲法の基本的性格	5
3. 地方自治	4
4. 選挙制度	4
5. 民主主義の発展	4
6. 各国の政治制度	4
7. 基本的人権の尊重	4
8. 国際政治と日本	4
経済分野	
1. 経済のしくみ	5
2. 企業のしくみ	4
3. 景気と物価	4
4. 金融と日本銀行の金融政策	4
5. 財政政策	5
6. 為替レートと貿易	4
7. 国際経済との関わり	4
8. 国民所得と経済成長	4
9. 現代日本経済の構造と課題	4
10. 経済学史	4
社会分野	
1. 社会保障・情報化	4

2. 労働事情	4
3. 環境問題・農業問題	4
時間数合計	88

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 社会科学Ⅱ（現代社会）		科目担当： 丸谷 紘之		<input type="checkbox"/> 専任 <input checked="" type="checkbox"/> 講師	
学科： 公務員科	学年： 2年	予定 <u>22</u> 時間	実績 <u> </u> 時間	通年・ <u>前期</u> ・後期	
教材	1. 教科書 平成 31 年度試験完全対応 公務員試験速攻の時事実戦トレーニング編 実務教育出版 平成 31 年度試験完全対応 公務員試験速攻の時事 実務教育出版				
目標	最近の公務員試験において、出題頻度の高い現代社会分野の出題に正答することが出来るように、応用力を養成すること。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基づいて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。 なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
・1年次の現代社会分野の復習	3
・政治	4
・経済	4
・社会保障、社会問題	4
・問題演習	7
時間数合計	22

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 社会科学Ⅱ（公民）		科目担当： 大久保 和 彦		<input type="checkbox"/> 専任 <input checked="" type="checkbox"/> 講師	
学科： 公務員科	学年： 2年	予定 <u>22</u> 時間	実績 <u> </u> 時間	通年・ <u>前期</u> ・後期	
教材	1. 教科書 テーマ別 時事問題の解説 東京法令出版				
目標	国家一般職高卒程度、地方初級レベル公務員試験の社会科学分野の出題に正答することが出来るように、応用力を養成すること。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 （1）成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 （2）成績評価は以下の評価項目に基づいて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 模擬テスト （3）成績評価は上記（2）評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。 なお、上記（2）評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について （1）予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 （2）復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
・憲法	4
・日本の政治	4
・国際政治	4
・実践過去問	10
時間数合計	22

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 就職実務		科目担当： 丸谷 紘之 (システム開発及び営業の実務経験あり)		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師	
学科： 公務員科		学年： 2年	予定 <u>11</u> 時間	実績 _____時間	通年・前期・ <u>後期</u>
教材	1. 教科書 <u>専修学校生の就職ガイド マイロード21</u> _____ <u>実教</u> 出版				
目標	就職試験対策・入社後の備えとしてビジネスマナーとコミュニケーション能力を養成する。				
授業に関する説明	<p>1. 授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義及び問題演習。 <p>2. 成績評価の方法・基準</p> <p>(1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。</p> <p>＜評価項目＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 出席状況 ② 確認テスト ③ 授業中の学習態度 <p>(3) 成績評価は上記(2)評価項目①～③の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。</p> <p>＜評価基準＞</p> <ul style="list-style-type: none"> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 <p>3. 予習・復習について</p> <p>(1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。</p> <p>(2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識の定着を図ること。</p> <p>4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。</p>				

・授業期間を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
内定後の過ごし方	3
内定から入社まで	8
時間数合計	11

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 商業簿記基礎		科目担当： 外里 宏		<input type="checkbox"/> 専任 <input checked="" type="checkbox"/> 講師	
学科： 公務員科	学年： 2年	予定 <u>33</u> 時間	実績 _____ 時間	通年・前期・ <u>後期</u>	
教材	1. 教科書 <u>全経簿記能力検定試験公式テキスト3級</u> <u>ネットスクール出版</u>				
目標	簿記の基礎を学び、財務諸表を読める能力を養成する。				
授業に関する説明	<p>1. 授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義及び問題演習。 <p>2. 成績評価の方法・基準</p> <p>(1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。</p> <p style="padding-left: 20px;"><評価項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 模擬テスト <p>(3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。</p> <p style="padding-left: 20px;">なお、上記(2)評価項目⑥については、その成果により加点を行う。</p> <p style="padding-left: 20px;"><評価基準></p> <ul style="list-style-type: none"> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 <p>3. 予習・復習について</p> <p>(1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。</p> <p>(2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識の定着を図ること。</p> <p>4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。</p>				

・授業期間を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1. 簿記の基本	10
2. 期中取引（現金、当座預金、商品売買、手形取引、有価証券）	3
3. 伝票記入、試算表（合計残高試算表、合計試算表）	4
4. 決算整理（見越と繰延、売上原価算定、貸し倒れの見積り、減価償却、消耗品の処理、その他）	8
5. 精算表・財務諸表（作成手順）	8
時間数合計	33

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 人文科学 I		科目担当： 丸谷 紘之		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師	
学科： 公務員科	学年： 1年	予定 108 時間	実績 _____ 時間	<input checked="" type="checkbox"/> 通年・前期・後期	
教材	1. 教科書： <u>絶対合格シリーズ 人文科学テキスト編</u> (株)麻生キャリアサポート (株)麻生キャリアサポート 2. 副教材： <u>絶対合格シリーズ 人文科学問題集編</u> (株)麻生キャリアサポート (株)麻生キャリアサポート				
目標	国家一般職高卒程度、地方初級レベル公務員試験の人文科学分野の出題に正答することが出来るように、基礎力を養成すること。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基づいて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。 なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
日本史分野 1. 古代（縄文時代～平安時代）	12
2. 中世（鎌倉時代～室町時代）	12
3. 近世（安土桃山時代～江戸時代）	12
4. 近代（明治～昭和）	12
5. 現代（戦後）	12
6. 文化史	8
世界史分野 1. 古代	8
2. 中世ヨーロッパ	8
3. 近代ヨーロッパ	8
4. 市民革命	8
5. ナポレオン時代	8
時間数合計	108

2021年度

学習指導進度表

科目名称：人文科学Ⅱ（世界史）		科目担当：丸谷 紘之		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師	
学科：公務員科	学年：2年	予定 <u>66</u> 時間	実績 <u> </u> 時間	通年・ <u>前期</u> ・後期	
教材	1. 教科書： <u>高卒程度公務員講座 講義編 一般知識(上)</u>		<u>(株)ウイネット</u>	<u>公務員試験研究会</u>	
	2. 副教材： <u>高卒程度公務員講座 ワークブック 一般知識(上)</u>		<u>(株)ウイネット</u>	<u>公務員試験研究会</u>	
目標	国家一般職高卒程度、地方初級レベル公務員試験の人文科学分野(世界史)の出題に正答することが出来るように、応用力を養成すること。				
授業に関する説明	<p>1. 授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義及び問題演習。 <p>2. 成績評価の方法・基準</p> <p>(1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は以下の評価項目に基づいて行う。</p> <p>＜評価項目＞</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 授業中の学習態度 ④ 課題提出状況 ⑤ 模擬テスト <p>(3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。</p> <p>なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。</p> <p>＜評価基準＞</p> <p>A：85点以上</p> <p>B：70点以上 85点未満</p> <p>C：60点以上 70点未満</p> <p>D：60点未満</p> <p>3. 予習・復習について</p> <p>(1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。</p> <p>(2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。</p> <p>4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。</p>				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1年次に引き続き、世界史分野の後半を講義した後、社会科学Ⅰ、人文科学Ⅰで学習した内容も含めて、問題演習を通じて総復習をする。	
世界史分野の講義 6章. イスラム世界の形成と発展	5
7章. 市民革命	10
8章. ヨーロッパ諸国の東進	5
9章. 現代社会	10
ワークブック 一般知識(上)及び科目別問題を使つての、問題演習による総復習 1. 政治・経済分野	7
2. 倫理・社会分野	5
3. 日本史分野	8
4. 世界史分野	10
過去問題を使つての総合問題演習	6
時間数合計	66

2021年度

学習指導進度表

科目名称：人文科学Ⅱ（地理）		科目担当：大久保 和 彦		<input type="checkbox"/> 専任 <input checked="" type="checkbox"/> 講師	
学科：公務員科	学年：2年	予定 <u>44</u> 時間	実績 <u> </u> 時間	通年・ <u>前期</u> ・後期	
教材	1. 教科書	絶対合格シリーズ 人文科学テキスト編	(株)麻生キャリアサポート	(株)麻生キャリアサポート	
	2. 問題集	絶対合格シリーズ 人文科学問題集編 オリジナルプリント	(株)麻生キャリアサポート	(株)麻生キャリアサポート	
目標	国家一般職高卒程度、地方初級レベル公務員試験の人文科学分野(地理)の出題に正答することが出来るように、応用力を養成すること。				
授業に関する説明	<p>1. 授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義及び問題演習。 <p>2. 成績評価の方法・基準</p> <p>(1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は以下の評価項目に基づいて行う。</p> <p>＜評価項目＞</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 模擬テスト <p>(3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。</p> <p>なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。</p> <p>＜評価基準＞</p> <p>A：85点以上</p> <p>B：70点以上85点未満</p> <p>C：60点以上70点未満</p> <p>D：60点未満</p> <p>3. 予習・復習について</p> <p>(1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。</p> <p>(2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。</p> <p>4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。</p>				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
・気 候	8
・地 形	8
・地 誌	8
・人口・地図	8
・実践過去問	12
時間数合計	44

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 数的処理Ⅰ（資料解釈）		科目担当： 小 田 喜 治		<input type="checkbox"/> 専任 <input checked="" type="checkbox"/> 講師	
学科： 公務員科	学年： 1年	予定 <u>26</u> 時間	実績 <u> </u> 時間	通年・前期・ <u>後期</u>	
教材	教科書 <u>絶対合格シリーズ 数的推理・資料解釈テキスト編</u> <u>(株)麻生キャリアサポート</u> <u>(株)麻生キャリアサポート</u> <u>絶対合格シリーズ 数的推理・資料解釈問題集編</u> <u>(株)麻生キャリアサポート</u> <u>(株)麻生キャリアサポート</u> その後、模試・過去問をオリジナル編集した問題の演習と解説を行う				
目標	国家一般職高卒程度、地方初級レベル公務員試験の資料解釈分野の出題に正答することが出来るように、基礎力を養成すること。				
授業に関する説明	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業方法 <ul style="list-style-type: none"> ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 <ol style="list-style-type: none"> (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <ul style="list-style-type: none"> <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。 なお、上記(2)評価項目⑥については、その成果により加点を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について <ol style="list-style-type: none"> (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。 				

・授業期間を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1. 導入	2
2. 実数と構成比	2
3. 指数と構成比	2
4. 増減率	2
5. その他の資料	2
資料解釈1 総合演習（毎時間「2問の演習とその解説」を2回程度）	16
時間数合計	26

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 数的処理 I (数的推理)			科目担当： 外 里 宏		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師
学科： 公務員科	学年： 1年	予定 <u>62</u> 時間	実績 <u> </u> 時間	<input checked="" type="checkbox"/> 通年・前期・後期	
教材	1. 教科書 <u>絶対合格シリーズ 数的推理・資料解釈テキスト編</u>		<u>(株)麻生キャリアサポート</u>	<u>(株)麻生キャリアサポート</u>	
	2. 問題集 <u>絶対合格シリーズ 数的推理・資料解釈問題集編</u>		<u>(株)麻生キャリアサポート</u>	<u>(株)麻生キャリアサポート</u>	
目標	国家一般職高卒程度、地方初級レベル公務員試験の数的処理(旧数的推理)分野の出題に正答することが出来るように、基礎力を養成すること。				
授業に関する説明	<p>1. 授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義及び問題演習。 <p>2. 成績評価の方法・基準</p> <p>(1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。</p> <p><評価項目></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 模擬テスト <p>(3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥については、その成果により加点を行う。</p> <p><評価基準></p> <p>A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満</p> <p>3. 予習・復習について</p> <p>(1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。</p> <p>(2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識の定着を図ること。</p> <p>4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。</p>				

・授業期間を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
数的推理（論理分野） 第1章 方程式と不等式	1 2
第2章 数の性質と計算	1 2
第3章 場合の数と確率	1 2
数的推理（図形分野）	1 2
問題演習	1 4
時間数合計	6 2

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 数的処理Ⅰ（判断推理）		科目担当： 大久保 和 彦		<input type="checkbox"/> 専任 <input checked="" type="checkbox"/> 講師	
学科： 公務員科	学年： 1年	予定 <u>14</u> 時間	実績 _____ 時間	通年・ <u>前期</u> ・後期	
教材	1. 教科書	絶対合格シリーズ 判断推理テキスト編	(株)麻生キャリアサポート	(株)麻生キャリアサポート	
	2. 問題集	絶対合格シリーズ 判断推理問題集編 オリジナルプリント	(株)麻生キャリアサポート	(株)麻生キャリアサポート	
目標	国家一般職高卒程度、地方初級レベル公務員試験の課題処理(旧判断推理)分野の出題に正答することが出来るように、基礎力を養成すること。				
授業に関する説明	<p>1. 授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義及び問題演習。 <p>2. 成績評価の方法・基準</p> <p>(1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。</p> <p>＜評価項目＞</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 模擬テスト <p>(3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。 なお、上記(2)評価項目⑥については、その成果により加点を行う。</p> <p>＜評価基準＞</p> <p>A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満</p> <p>3. 予習・復習について</p> <p>(1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。</p> <p>(2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識の定着を図ること。</p> <p>4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。</p>				

・授業期間を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
論理分野 1. 論理	2
2. 集合・人数	3
3. うそつき	3
4. 対応関係	3
5. 順序関係	3
時間数合計	14

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 数的処理Ⅰ（判断推理）		科目担当： 小田 喜治		<input type="checkbox"/> 専任 <input checked="" type="checkbox"/> 講師	
学科： 公務員科	学年： 1年	予定 <u>42</u> 時間	実績 _____ 時間	通年・前期・ <u>後期</u>	
教材	1. 教科書 <u>絶対合格シリーズ 判断推理テキスト編</u> <u>(株)麻生キャリアサポート</u> <u>(株)麻生キャリアサポート</u> <u>絶対合格シリーズ 判断推理問題集編</u> <u>(株)麻生キャリアサポート</u> <u>(株)麻生キャリアサポート</u> その後、模試・過去問をオリジナル編集した問題の演習と解説を行う				
目標	国家一般職高卒程度、地方初級レベル公務員試験の課題処理(旧判断推理)分野の出題に正答することが出来るように、基礎力を養成すること。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。 なお、上記(2)評価項目⑥については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

・授業期間を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
大久保先生が第5章までを担当し、それ以降を小田が担当する	
6. 試合・勝敗	3
7. 位置・方正	3
8. 暗号	3
9. 手順	3
10. 暦・カレンダー	3
11. 数量推理	3
図形分野	12
判断推理 総合演習（毎時間4問程度の演習とその解説）	12
時間数合計	42

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 数的処理Ⅱ（資料解釈）		科目担当： 小 田 喜 治		<input type="checkbox"/> 専任 <input checked="" type="checkbox"/> 講師	
学科： 公務員科	学年： 2年	予定 <u>44</u> 時間	実績 _____ 時間	通年・ <u>前期</u> ・後期	
教材	1. 教科書 毎時間、過去問を中心としたオリジナル演習プリントを用いて4問程度の実践演習とその解説を行う				
目標	国家一般職高卒程度、地方初級レベル公務員試験の資料解釈分野の出題に正答することが出来るように、応用力を養成すること。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。 なお、上記(2)評価項目⑥については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

・授業期間を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
資料解釈実践演習 週2時間	44
時間数合計	44

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 数的処理Ⅱ (数的推理)		科目担当： 外 里 宏		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師	
学科： 公務員科	学年： 2年	予定 <u>88</u> 時間	実績 <u> </u> 時 間	通年・ <u>前期</u> ・後期	
教材	1. <u>問題集 地方初級・国家一般職 数学・数的推理 問題集</u> T A C 出版 2. プリント				
目標	国家一般職高卒程度、地方初級レベル公務員試験の数的処理(旧数的推理)分野の出題に正答することが出来るように、応用力を養成すること。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

・授業期間を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
分野別問題演習 数学（数と式、方程式と不等式） 数的推理（文章題）	20
分野別演習 数学（関数・関数のグラフと方程式） 数的推理（文章題・図形）	20
分野別演習 数学（三角比・数列） 数的推理（確率）	20
総合演習	28
時間数合計	88

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 数的処理Ⅱ（判断推理）		科目担当： 小 田 喜 治		<input type="checkbox"/> 専任 <input checked="" type="checkbox"/> 講師	
学科： 公務員科	学年： 2年	予定 <u>66</u> 時間	実績 <u> </u> 時間	通年・ <u>前期</u> ・後期	
教材	1. 教科書 毎時間、過去問を中心としたオリジナル演習プリントを用いて4問程度の実践演習とその解説を行う				
目標	国家一般職高卒程度、地方初級レベル公務員試験の課題処理(旧判断推理)分野の出題に正答することが出来るように、応用力を養成すること。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。 なお、上記(2)評価項目⑥については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

・授業期間を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
判断推理実践演習 週2時間	44
判断推理実践演習（図形） 週1時間	22
時間数合計	66

2021年度

学習指導進度表

科目名称：卒業研究		科目担当：丸谷 紘之 (システム開発及び営業の実務経験あり)		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師	
学科：公務員科	学年：2年	予定 125 時間	実績 _____ 時間	通年・前期・後期	
教材	1. 教科書 <u>卒業研究の手引き</u> <u>卒業研究検討委員会</u> 出版 2. 副教材 各種参考資料（インターネット、書籍）				
目標	1. 学習の総まとめとして卒業研究を行い、科目の学習だけでは学べない様々なことを実体験も通じながら理解する。 2. 研究発表を行うことにより、プレゼンテーション技能の向上を目指す。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基いて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 授業中の学習態度 ③ 課題提出状況 ④ 卒業論文 ⑤ 中間発表・最終発表 (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

・授業期間を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1. 卒業研究の取り組み方の確認	3
2. テーマ選定のための予備研究（問題提起）	17
3. スケジュールリング	5
4. 本研究1	20
5. 中間発表準備（レジュメ作成、発表スライドの作成、発表練習）、中間発表（H27/11/下旬）	10
6. 本研究2	50
7. 最終発表準備（発表資料の作成、問題の洗い出しと改善策、質問への対処）、最終発表（H31/2/月上旬）	10
8. 研究論文のまとめ、資料の整理	10
時間数合計	125

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 表計算 I		科目担当：丸谷 紘之 (システム開発及び営業の実務経験あり)		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師	
学科： 公務員科		学年： 1年	予定 <u>151</u> 時間	実績 _____ 時間	①通年・前期・後期
教材	1. 教科書 <u>データ活用3級合格教本</u> <u>技術評論社</u> 出版 <u>PC検定研究会</u> 著者				
	2. 副教材 <u>3級完全マスターデータ活用</u> <u>FOM出版</u> 出版 <u>富士通エフ・オー・エム</u> 著者				
目標	新たにメインの卒業基準検定として、実務で必要とされるエクセルに関する基本操作を習得し、簡単な表・グラフを作成できるようにする。				
授業に関する説明	<p>1. 授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義及び実習。 <p>2. 成績評価の方法・基準</p> <p>(1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は以下の評価項目に基づいて行う。</p> <p style="padding-left: 20px;"><評価項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 検定取得状況 <p>(3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。</p> <p>なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。</p> <p style="padding-left: 20px;"><評価基準></p> <ul style="list-style-type: none"> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 <p>3. 予習・復習について</p> <p>(1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。</p> <p>(2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。</p> <p>4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。</p>				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1. Excelの機能と基本操作	15
2. いろいろな関数を覚える	20
3. 練習問題により関数を使用してみる ・問題1～7	16
4. 模擬試験問題により関数を応用してみる ・第1回～第4回	20
5. 復習として、問題を繰り返し演習する ・練習問題 問題1～7 ・模擬試験問題 第1回～第4回	20
6. 3級完全マスター（FOM出版）の問題演習により、3級本試験に慣れる ・実技 問題5問 ・模試 2問	20
7. 3級完全マスター（FOM出版）を再度実施し最終確認する ・実技 問題5問 ・模試 2問	20
8. 知識科目の学習をする ・3級合格教本 ・3級完全マスター	20
時間数合計	151

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 表計算Ⅱ			科目担当： 丸谷 紘之 (システム開発及び営業の実務経験あり)		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師
学科： 公務員科	学年： 2 学年	予定 <u>33</u> 時間	実績 <u> </u> 時間	通年 前期・後期	
教材	1. よくわかる Excel2013 演習問題集 (FOM 出版)				
目標	1. 実習を通して、実務で使用可能な Excel のワークシートを作成できるようになる。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び実習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基づいて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 検定取得状況 (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1. 日商 PC 検定 3 級レベルの復習	5
2. 基本的な表作成	5
3. 数式と関数を使いこなして計算する	5
4. 入力規制を使って入力ミスを防ぐ	6
5. シートを連携して複数の表を作成する	6
6. 条件に寄ってセルに書式を設定する	6
時間数合計	33

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 文章理解 I (英文)		科目担当： 大久保 和 彦		<input type="checkbox"/> 専任	
学科： 公務員科		学年： 1 年	予定 <u>95</u> 時間	実績 _____ 時間	<input checked="" type="checkbox"/> 通年・前期・後期
教材	1. 教科書 オリジナルプリント				
目標	国家一般職高卒程度、地方初級レベル公務員試験の文章理解英文分野の出題に正答することが出来るように、基礎力を養成すること。				
授業に関する説明	<p>1. 授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義及び問題演習。 <p>2. 成績評価の方法・基準</p> <p>(1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は以下の評価項目に基づいて行う。</p> <p style="padding-left: 20px;"><評価項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 模擬テスト <p>(3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。</p> <p style="padding-left: 20px;">なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。</p> <p style="padding-left: 20px;"><評価基準></p> <ul style="list-style-type: none"> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 <p>3. 予習・復習について</p> <p>(1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。</p> <p>(2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。</p> <p>4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。</p>				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
文型	30
構文	35
速読演習	10
やさしい過去問	20
時間数合計	95

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 文章理解Ⅰ（現代文）		科目担当： 丸谷 紘之		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 講師	
学科： 公務員科	学年： 1年	予定 <u>82</u> 時間	実績 <u> </u> 時間	<input checked="" type="checkbox"/> 通年・前期・後期	
教材	1. 教科書： <u>絶対合格シリーズ 文章理解テキスト</u> (株)麻生キャリアサポート (株)麻生キャリアサポート 2. 副教材： <u>国家Ⅲ種・地方初級公務員⑤ 文章理解</u> 七賢出版(株) 東京アカデミー <u>文章理解すぐ解ける直感ルールブック</u> (株)実務教育出版 瀧口 雅仁				
目標	国家一般職高卒程度、地方初級レベル公務員試験の文章理解現代文分野の出題に正答することが出来るように、基礎力を養成すること。				
授業に関する説明	1. 授業方法 ・講義及び問題演習。 2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基づいて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 授業中の学習態度 ④ 課題提出状況 ⑤ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。 なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。 4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
1. 教科書を使って、公務員試験文章理解の現代文分野の3つの出題形式について、その内容と問題の解き方を学習する。	16
2. 副教材の「文章理解すぐ解ける直感ルールブック」を使って、3つの出題形式ごとに、基礎的な問題演習をする。	16
3. 教科書及び副教材の「国家Ⅲ種・地方初級公務員⑤文章理解」を使って、過去問題演習を行い、現代文の出題に正答出来る応用力を養成する。	50
時間数合計	82

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 文章理解Ⅱ（英文）		科目担当： 大久保 和 彦		<input type="checkbox"/> 専任 <input checked="" type="checkbox"/> 講師	
学科： 公務員科	学年： 2年	予定 <u>66</u> 時間	実績 <u> </u> 時間	通年・ <u>前期</u> ・後期	
教材	1. 問題集 オリジナルプリント				
目標	国家一般職高卒程度、地方初級レベル公務員試験の文章理解英文分野の出題に正答することが出来るように、応用力を養成すること。				
授業に関する説明	<p>1. 授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義及び問題演習。 <p>2. 成績評価の方法・基準</p> <p>(1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は以下の評価項目に基づいて行う。</p> <p style="padding-left: 20px;"><評価項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 模擬テスト <p>(3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。</p> <p style="padding-left: 20px;">なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。</p> <p style="padding-left: 20px;"><評価基準></p> <ul style="list-style-type: none"> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満 <p>3. 予習・復習について</p> <p>(1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。</p> <p>(2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。</p> <p>4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。</p>				

・授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
・実践過去問	66
時間数合計	66

2021年度

学習指導進度表

科目名称： 文章理解Ⅱ（現代文）		科目担当： 大久保 和 彦		<input type="checkbox"/> 専任 <input checked="" type="checkbox"/> 講師
学科： 公務員科	学年： 2年	予定 <u>44</u> 時間	実績 _____ 時間	④ 通年・前期・後期
教材	1. 問題集 オリジナルプリント			
目標	国家一般職高卒程度、地方初級レベル公務員試験の文章理解現代文分野の出題に正答することが出来るように、応用力を養成すること。			
授業に関する説明	<p>1. 授業方法 ・講義及び問題演習。</p> <p>2. 成績評価の方法・基準 (1) 成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、C以上を合格とする。 (2) 成績評価は以下の評価項目に基づいて行う。 <評価項目> ① 出席状況 ② 期末テスト ③ 確認テスト ④ 授業中の学習態度 ⑤ 課題提出状況 ⑥ 模擬テスト (3) 成績評価は上記(2)評価項目①～⑤の合計点を100点満点換算し、下記の評価基準に従って行う。 なお、上記(2)評価項目⑥、⑦については、その成果により加点を行う。 <評価基準> A：85点以上 B：70点以上85点未満 C：60点以上70点未満 D：60点未満</p> <p>3. 予習・復習について (1) 予習の目的は、自分が分からない点を明らかにすることである。それが授業の中で解決しなかった場合は必ず質問する事。 (2) 復習はできるだけ早く行う事。また、繰り返し行い、知識・技術の定着を図ること。</p> <p>4. 授業期間全体を通じた授業の進め方は、次ページの通り。</p>			

・授業期間全体を通じた授業の進め方

授業内容	予定時間
・実践過去問	44
時間数合計	44